

※この資料に音声は
入っていません。

「ちまき」のはなし



「ちまき」は、もち米ごめやもちなどを、笹ささの葉はなど

でつつ包んだものです。

ほそながかたち細長い形をしたものや、

さんかくけい
三角形のものがあります。



もともとは、「ちがや」

という植物の葉はっぱで

っ包んでいたので、

「ちまき」といいます。

ちまきには、^{びょうき}病気や^{わる}悪いこ
とを ^{ちから}おいはらう力がある
と いわれています。

^{がついつか}5月5日の^こ子どもの^ひ日に
^た食べる^{ぎょうじしょく}行事食のひとつで
す。

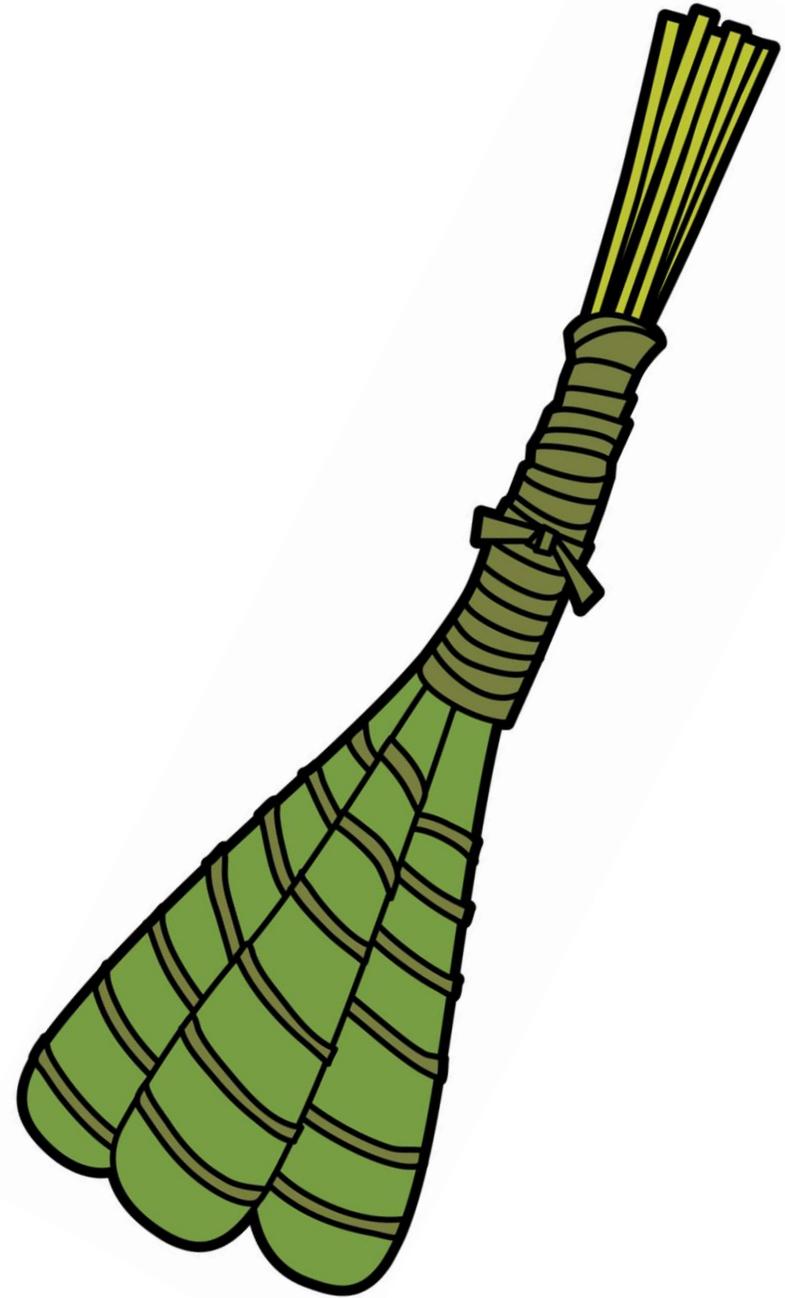


きょう きゅうしょく
今日の給食のちまきは、

あまい「お団子」を

ささは つつ
「笹の葉」で包んで、

ぐさ
「い草」でくくっています。





ここで おすんであるので

ほどきましょう。

なか だんご と だ
中のお団子を取り出して

た
食べましょう。

たべおわったら、

そのまま捨^すててもいいです

が、笹^{ささ}の葉^はを小^{ちい}さくたたん

で、い草^{ぐさ}で巻^まくと、ごみ^{ちい}が小

さくなります。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



ちい
ゴミを小さくすることで、
つか ぶくろ すく
使うごみ袋が少なくて
よくなります。

SDGsの「ゴミを減らす」
とりくみにもつながります。



など

おわり